

細菌学各論 8 スピリルム（らせん菌）

概要

主要な病原体は、感染性胃腸炎の原因菌である *Campylobacter jejuni/coli* と胃炎や胃潰瘍の原因となるピロリ菌 (*Helicobacter pylori*) である。ピロリ菌のウレアーゼは、病原性に関与しているだけでなく、診断にも応用されている。

項目

- A [カンピロバクター *Campylobacter* 属](#)
 - a. [*Campylobacter jejuni/coli*](#)
 - b. [*Campylobacter fetus*](#)
- B [ヘリコバクター *Helicobacter* 属](#)
 - a. [*Helicobacter pylori*](#)
- C [アルコバクター *Arcobacter* 属](#)
- D [スピリルム *Spirillum* 属](#)

[復習ミニテスト](#)A [カンピロバクター *Campylobacter* 属](#)

概要

カーブしたという意味の形容詞 “campylo” と棍棒の意味の名詞 “bacter” の合成による属名である。主要な病原体は、感染性胃腸炎の原因菌である *Campylobacter jejuni/coli* であるが、まれに髄膜炎や菌血症の原因となる *Campylobacter fetus* も含む。

a. [*Campylobacter jejuni/coli*](#)

概要

食中毒（感染性胃腸炎）の原因菌の一つ。*C. jejuni* と *C. coli* 両者は、しばしば細菌学的に区別が困難であるため、*C. jejuni/coli* と記されることも多い。菌種名は、それぞれ、*jejunum*（空腸）と *colon*（結腸）に由来する。原因菌の 90～95% は *C. jejuni* である。潜伏期が比較的長い（多くは、2 日以上）。合併症として、**Guillain-Barre syndrome** が有名。治療薬はマクロライド（EM、CAM など）。

細菌学的特徴

グラム陰性らせん状桿菌 0.2～0.4×0.5～5μm。両端に 1 本ずつ鞭毛を有する。42℃、微好気性環境で良好に発育する。乾燥に弱い。組織侵入型。動物の腸管内（特に家禽、家畜）に存在しており、生または半焼けの鶏肉などが感染源として典型的である。

感染性腸炎

C. jejuni の場合、500 個程度の少量でも感染が成立する。空腸と回腸上部が初期の感染部位で、徐々に結腸に広がる。潜伏期が比較的長く、2～5 日である。

合併症

□ **Guillain-Barre syndrome**（ギラン・バレー症候群：GBS）

末梢神経障害。glove & stocking type と呼ばれる、運動神経優位の上行性の麻痺を起こす。ヒトの神経細胞表面に存在するオリゴ糖と、菌の抗原の構造が類似しているために起こると考えられている。

□ **Fisher syndrome**（Miller-Fisher syndrome とも）：GBS の亜型

問題 1 の答え

1	鞭毛
2	微好気
3	腸管
4	鶏肉
5	空腸
6	2～5
7	ギラン・バレー (Guillain-Barre)
8	マクロライド
9	<i>Helicobacter pylori</i> (ピロリ菌)
10	アモキシシリン
11	クラリスロマイシン
12	プロトン
13	抗体
14	尿素
15	ウレアーゼ

